

【 被災者支援から新たな包摂的支援を岩手から 】

平成26年1月28日
第9回現地会議 in 岩手
もりおか復興支援センター
生活支援相談員 阿部 知幸

[活動内容]

1、被災者への食糧支援を開始

東日本大震災が2011年3月に発災し、被災地の人々は突然自分たちの住まいや親しい人々を失いました。

私たちは「もりおか復興支援センター」で被災地から岩手県内陸部の盛岡市に避難されてきた方々の支援をするために生活相談や支援物資の配給、そして不慣れな土地での生活の不安や悩みを取り除くことができるように、心の寄り添い活動などを今日まで続けています。すでに自立再建し、震災以前同様の生活に戻りつつある被災者もいますが、大部分の方はいまだに大小様々な問題を抱え、よりよい解決手段を模索する中で、生活がいまだに不安定であるというのが現状です。

日頃生活相談を受ける中で、まず分かったことが全体の二割弱の世帯では家計の収支がマイナスの状態に陥っているという事実でした。さらには、世帯主が病気などの事情により就労が難しい世帯では、家計が無収入の状態である事がわかりました。

こうした事情を踏まて、私たちはそれらの困窮世帯に対し、米穀を中心とした最低限の食糧を配布する活動を始めました。

この活動は、物資を提供して生活を支援する意味合いだけではなく、定期的にその家庭を訪問することで生活の見守りにつながり、社会的孤立などを防ぐ効果があることがわかりました。

生活困窮世帯の救済制度としては生活保護制度が一般的に知られていますが、私たちは生活保護の一手手前のセーフティーネットの一つとして食糧支援活動を行っています。

経済的困窮の解決は生活保護で可能ですが、社会からの疎外感や「生きづらさ」は、それだけでは解決されません。一人にしない、居場所を確保するなどの支援が必要だと思います。

2、食糧支援からフードファームへ

食糧支援活動を始めて約二年、この支援により生活保護に陥ることなく、再就職や自立につながった方もいますが、いまだに生活再建への道をさぐっている方がほとんどです。

失業状態が続き、求職活動期間が長くなっている人ほど、自己有用感や自尊感情は著しく低下しており、就労も含めた社会参加に消極的になっています。まずは、自身の自己有用感の回復や自尊感情の向上のために、フードファームへの参加を促していくことを考えました。

フードファーム活動は平成25年5月より開始し、収穫した野菜を被災した経済的に困窮している世帯に配布する目的で野菜栽培を共同で行っています。フードファームへの参加で、自分が実際に作った野菜が人の為に役立つという自己有用感を得ると同時に、長らく社会から孤立していた人や家族を失い何もする気が起きない状態の人などが日常生活を取り戻し、自立に向けて立ち上がるきっかけを作る「社会的居場所」として確立しつつあります。

3、最後に

それまで普通に暮らしていた人が急な失業や疾病により暮らしに困ったり、ひきこもりがちになってしまうことは、世間からはちょっとした「つまづき」に見えるだけの事がきっかけだったりします。困難を抱えている人を一人ぼっちにせず、社会全体で支えてゆく必要があります。そしてその新しい支援活動を盛岡に定着できるように努める次第です。市民の皆様にも私たちの支援活動にご理解をいただくと共に、よりよく生きるための新たな包摂的支援活動「フードバンク岩手」のはじまりに何卒ご協力をお願いしたいと思います。

もりおか復興支援センター報告 資料

平成26年1月28日

もりおか復興支援センター登録件数 671 世帯 1370 人

1.盛岡市内に避難されている方々の出身県

避難元	岩手県	宮城県	福島県	合計
H24年6月	602 (84.3%)	54 (7.6%)	58 (8.1%)	714
H26年1月	573 (85.3%)	44 (6.5%)	54 (8.0%)	671

2.避難元が岩手県の市町村別

避難元	洋野町	久慈市	野田村	普代村	田野畑村	岩泉町
世帯数	0	1	3	0	1	0

避難元	宮古市	山田町	大槌町	釜石市	大船渡市	陸前高田市	内陸被災
世帯数	86	122	136	114	42	63	5

3.盛岡市内(避難先)での住居の種別

現在の住居	みなし仮設(※1)	私的民間賃貸(※2)	自宅	居候	施設・社宅・不明等
H24年6月	493	41	48	60	73
H26年1月	417	53	122	56	23

(※1 国や自治体が民間の賃貸住宅を借り上げ応急仮設住宅として提供)

(※2 私的民間賃貸の家賃は自己負担)

4.現在住民票を置いている市町村

住民票	避難元(地元)	盛岡市
H24年6月	310 (49.5%)	316 (50.5%)
H26年1月	269 (43.2%)	354 (56.8%)

(※聞取り・回答総数 626世帯)
(※聞取り・回答総数 623世帯)

5.将来の居住予定地

居住地	避難元(地元)	迷っている	盛岡市
H24年6月	88 (25.1%)	125 (35.7%)	137 (39.1%)
H26年1月	88 (17.8%)	159 (32.3%)	246 (49.9%)

(※聞取り・回答総数 350世帯)
(※聞取り・回答総数 493世帯)

6.食糧支援世帯

H24年6月	137 (19.2%)	(714世帯中)
H26年1月	97 (14.5%)	(671世帯中)

7.生活で困った事があった時に頼み事を出来る人が盛岡市近郊にいるかの質問

頼み事	いる	いない
世帯数	406	133
割合	75.3%	24.7%

(※聞取り・回答総数 539世帯)

8.食糧支援世帯で、生活で困った事があった時に頼み事を出来る人が近郊にいるかの質問

頼み事	いる	いない
世帯数	55	42
割合	56.7%	43.3%

(※世帯総数 97世帯)
(※食糧支援 = 生活に困窮されている世帯へ食糧品等の物資をお渡ししている)